

## 『ピンストライピング』 坂野愛

女子大生就職希望企業ランキング1位のJTB正社員（総合職）に5月に早々と内定獲得。決め手は観光デザイン力！その後は卒業制作に集中。日本屈指のピンストライパーに技法を学び、アメリカに渡りバイクをはじめとする様々なピンストライピングに触れる。そのレポートを雑誌形式にまとめて作品とともに展示した。来場者は市販のバイクマガジンと思って読んでいたほどの出来映えであった。作品はバイクの他にギター、ライター、灰皿にも描いている。

高校の頃からバイクに乗りたいという憧れがあった。

しかし、親に反対され、バイクに乗ることを諦めた。

大学に入り、友人のバイクの後ろに乗せてもらい初のツーリング！！

風を切りながら走り進むバイクに、私の心は躍った。

バイクに乗ると自然と顔がほころぶ。

友人と遊んでいる時、バイク雑誌で初めてピンストライピングを目にした。今までに見たことがない、筆を使って描かれるライン、サイン等の表現技法。私は、ピンストライピングに魅了された。



## 「ペーパー星人を作ろう！」 西出真弥

彼女は、本学近隣小学校の4年生2クラスを対象にした「ペーパー星人を作ろう！」というワークショップの考案から実施にいたるプロセスを構築し、それに関わるデザイン制作を行った。卒業制作展では、子どもたちが制作した作品を並べ、その作品を紹介する映像などを展示。制作展終盤では、子どもたちに会場へ作品を取りにきてもらい、その時に展覧会を体感してもらうということでワークショップは完了するというものだ。

このワークショップは、図画工作による表現技法の修得と作品に対する見方や考え方を共に探るという意図で企画。事前に用意したペーパー星人の展開図に性格や特徴を考えながら好きなように描き、組み立てるという表現技法の学習と、同じ材料から制作された作品のちがいを作者一人ひとりの個性として理解することが目的である。

卒業制作になぜワークショップを選んだのかというと、ゼミのイベントやフィールドワークで子どもたちと接する機会が多かったからです。

子どもの表現力は無限大。全く同じものなんてない。

だからおもしろい。そんな子どもとコラボレーションしたかったのです。

